

地域医療連携室ニュース 第66号

2016年9月

基本理念

～創意に富み 思いやりのある
信頼される病院をめざして～



残暑厳しき候、地域の医療機関様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。さて、今回の地域医療連携室ニュース第66号は、C型肝炎の最新治療特集と院内にて開催した夏祭りの模様などをお送りいたします。

C型肝炎の最新治療(DAAs)

消化器内科

病院長 今井 康陽
副部長 澤井 良之

1) C型肝炎の新しい治療

C型肝炎ウイルス(HCV)排除の治療としてはこれまでインターフェロン(IFN)治療だけでしたが、最近direct acting antivirals (DAAs)と総称される、直接的にHCVの複製・増殖を阻害する薬剤が開発され、C型肝炎治療が大きく進歩しています。

これまでのIFNによる治療は発熱、骨髄抑制などの様々な副作用が認められてきましたが、今回の新しい内服薬はGenotype 1型、2型ともに効果があり、内服期間は3ヶ月と短期間であり、副作用もほとんど認められません。

重度の腎機能障害症例や非代償性肝硬変症例など、DAAsによる治療が困難な場合もありますが、多くの場合は御高齢の患者様、副作用によりIFN治療が受けられなかった患者様でも治療を受けていただくことができます。当院でも多数の御高齢の患者様(80歳台後半の方もおられます)に治療を受けていただき、HCV陰性化を認めております。

2) 当院での治療効果

これまで当院にてDAAsによる治療をうけられた患者様における、治療終了3ヶ月後のHCV持続陰性化率は97%(257人中249人)と、高い著効率を認めています。前述のようにほとんど副作用も認めていません。

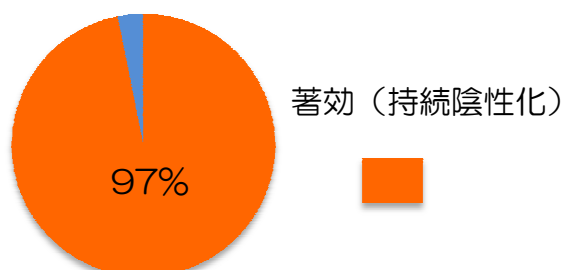
IFN治療にて陰性化に至らなかった多くの患者様においてもDAAs治療により高率にHCV持続陰性化を認めております。

3) 医療費助成について

DAAs治療は大変高価ですが、国のウイルス肝炎医療費助成制度によって患者様の負担を大きく軽減することができます。

治療にかかる薬剤費、診察費、入院費などの自己負担の上限を、月額1万円(または2万円)とし、残りの費用を国と自治体(都道府県)が負担します。

当院におけるDAAs治療の効果
(～2016/6/1 現在)



区分	世帯全員の市町民税 (所得割) 課税年額額の合計	自己負担 限度額 (月額)
甲	23万5000円以上の場合	2万円
乙	23万5000円未満の場合	1万円

4) まとめ

DAAs治療は著効率も高く、HCVによる肝硬変への進行や肝細胞癌の発生を抑制することが期待されています。副作用もほとんど認められませんので、御高齢、副作用が怖いなどの理由でこれまで治療を受けてこられなかった患者様、これまでIFNによる治療を受けられただけでもHCV陰性化に至らなかった患者様も是非当院へご紹介いただければ幸いです。

平成28年度 院内夏祭り

毎年恒例の院内で開催する夏祭り。合唱のコーナーでは、来場いただいた患者様やご家族様のパワフルな歌声に圧倒されました。また、盆踊りのコーナーでも自由にご参加いただき、力強い踊りを見せていただきました。今回の夏祭りも、たいへんな盛り上がりで熱気に包まれました。

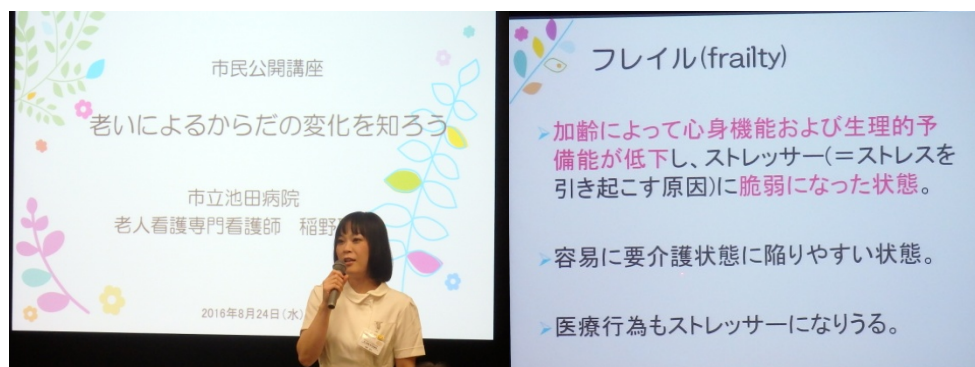


平成28年度市民公開講座

－これだけは知っておこう 病気・治療の豆知識40分講演－

§ 老いによるからだの変化を知ろう！ § 老人看護専門看護師 稲野 聖子 Ns

第45回の市民公開講座の様子をお届けします。看護師による講演は今回が初となりましたが、とても分かりやすく、看護師の視点からのお話は非常に興味深い内容となっていました。



開催日
8月24日(水)
参加人数
40名



※専門看護師による講演第2弾として、11月17日(木)「がんと向きあうために」をテーマに、がん看護専門看護師 山内 洋子Nsの講演を予定しています。

発行・編集：市立池田病院 地域医療連携室 事務局

問い合わせ：072-754-6379(直通) 発行日：平成28年8月31日